

## ■ 前回の例会記録

第3408回 2023年12月5日(火)

### 【ゲスト卓話】

宮崎県青年海外協力隊を支援する会  
事務局長 有里 泰徳 様  
「交流羅針盤～出会いは宝～」

\* 誕生日祝・結婚記念日祝(親睦委員会)

### 出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	106名
例会出席会員数	75名
同上出席率	72.15%

## ■ 今回の例会予定

第3409回 2023年12月12日(火)

### 【年次総会・次期役員選挙】

【「持ち味」を知る・学ぶ委員会】  
大園 匡 委員長

## ■ 次回の例会予定

第3410回 2023年12月19日(火)

### 【夜間例会】

年末懇親会:「ベル エポック」

## ■ 幹事報告

- 配布物
    - ・週報No.20、No.21、ガバナー月信、ロータリーの友
    - ・青島太平洋マラソン事業について・持ち味を知る学ぶ委員会
  - 報告 告知
    - ・本日スタッフ会議が開催されます 12月ロータリーレート147円です
    - ・11月28日山形訪問
    - ・12月2日 3日 ローターアクト地区連絡協議会開催 告知
    - ・12月12日年次総会・12日「持ち味」を知る学ぶ委員会実施について
    - ・青島太平洋マラソン事業について
  - 池ノ上ガバナーの動き
    - ・例会終了後の理事役員会の開催の案内
- (本日は定例の理事会となります。理事役員の方は、例会終了後、前方の役員席にお集まり下さい)

## ■ ビジター会員



第47代会長  
定永 正明 名誉会員



米山奨学生  
ワルダナ・バユ・クスマ君

## ■ ガバナー近況報告



国際RC第2730地区  
池ノ上 克 ガバナー



Happy Box  
内田 五郎 会員

9月2日より渡米しておりました私に初孫が生まれました。一人娘の桃子が9月6日にアメリカボストンの病院にて3,200グラムの元気な男の子を出産いたしました。その後、家内と一緒にボストンに滞在して、食事、洗濯、掃除買物と応援する毎日でした。その様な訳で、地区大会に参加出来ずに申し訳ございませんでした。なお、アメリカ国籍名は、ハビエル 海(かい) プエノ内田といい併せて、ボストンの日本領事館で日本国籍を申請受理されました。娘夫婦が名付けた名前は、内田六郎です。孫の末永い健康を願いハッピーとさせていただきます。

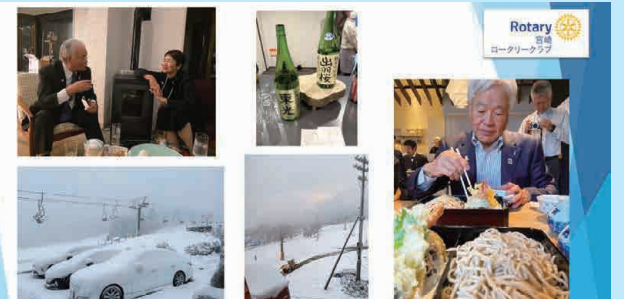
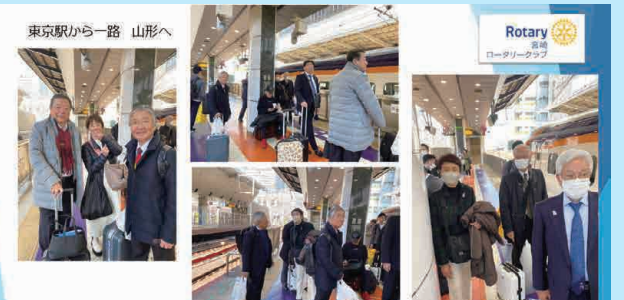
## ■ 会長の時間



会長卓話  
岡本 俊則 会長

皆様こんにちは、今日の卓話は先週11/28～29日に訪問をして参りました。山形ロータリークラブの例会参加の模様をお話させて頂こうと思います。この訪問は先般行われました国際ロータリー2730地区地区大会への登録参加に対する御礼の訪問でありました。山形さんは我々の訪問を機に様々な企画をされていると言う噂は聞いておりましたがまさかここまでヤルとは思っていませんでした少々驚きました。その内容を少しお話致します。まず会場を山形市内から蔵王に変更しグレンデを併設するホテルを貸し切り、訪問に併せ施設のリニューアルまで施したとのことでした。当日は宮崎～11名、途中合流者を含め 総勢14名での参加でした。

②画像 羽田の荷物受取所 不自然な厚着  
③画像 東京から山形までは東北新幹線で移動 まだまだ不自然な厚着  
④画像 新幹線 車内 東京駅で各自お弁当を購入し昼食 山形駅では十数名の山形ロータリークラブメンバーのお出迎えにクワエ駅長以下駅員総出でお出迎え ※記念写真 動画① 歓迎の幕、山形は5度くらいの気温だった  
⑤画像 山形駅から蔵王はバスで移動 動画② ホテル到着時の様子、おしゃれな暖炉、二次会も暖炉サイドで楽しんだ。  
⑥画像 宿は山形ロータリークラブ会員でもある岡崎彌平治さんを総帥とする名門 高見屋旅館 300余年の歴史を誇る。例会卓話も聞かせて頂いた。 ※双杖のスキー ※日本初のペアリフト 動画③④ 花火が上がるなど、本当にサプライズな企画であった。 画像⑦ ファイアーサイドではベストカップルが誕生、おいしい日本酒、翌朝の積雪、そして最後はやはりおいしいお蕎麦を堪能して岐路につきました。 これからも良い付き合いを末永く続けていきたいと心から思いました。 ※勿論、楽しいだけでなくしっかりと例会運営も拝見して参りましたことご報告をし会長の挨拶とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。







■ ゲスト卓話



「交流羅針盤～出会いは宝～」

宮崎県青年海外協力隊を支援する会 事務局長

有里 泰徳 様

県立学校教員時代の、県高文連国際・ボランティア専門部会・県国際研・JICA・ユネスコ・ボランティア等を通して、直接かかわってきたことをお話ししていきます。

初めに、宮崎県青年海外協力隊を支援する会についてです。表示した方々を中心に県内各関係機関の有志により、隊員活動の環境整備等支援の機運が高まり1997年に設立されました。「人づくり・国づくり・心のふれあい」がこの頃のスローガンでした。その後、2002年の開発教育九州沖縄地域セミナーでは、元ペルー・ケニア大使であった青木盛久さん、2017年の本会設立20周年記念事業では鈴木規子理事に出席いただき宮崎県出身の青年海外協力隊員の活躍についてお話しいただきました。

本会に入会していただきますと1976年設立の一般社団法人協力隊を育てる会に登録します。ご覧の各機関紙の他、隊員撮影のカレンダー等を送付しております。本会の活動についてはお手元のリーフレットをご覧ください。知事表敬・出身自治体首長表敬のほか派遣前壮行会等を実施。現在、会員は個人26名法人団体会員23名です。

次に、JICA事業の紹介です。お手元の資料は「中小企業・SDGsビジネス支援事業」に関する民間連携事業のリーフレットです。詳細についてはJICA九州の担当者がいますのでお問い合わせください。現在、宮崎県においてはご覧のJICA協力3団体で連携しながら事業を展開しているところです。

さて、この後のスライドからは各学校で活動していた生徒たちや顧問の先生方と共に学びを広げ深めた研修活動の様子です。第1回の宿泊研修セミナーを1996年に開始しました。県内留学生との交流・体験学習(農業・林業・日赤講習・福祉体験)等を最初の3年は少年自然の家を会場に、その後、県立農業大学校農業総合研修センター、2011年からは鹿屋市のKAPICセンターで実施しました。当初の半日かけての体験実習は途上国の実情を知る上で重要な機会となりました。第1回の研修講師は、前年の阪神淡路大震災時のNGO救援連絡会議代表の草地賢一さん(PHD協会総主事)、1997年は、興相寛さん(世田谷ボランティア協会理事長)、1998年は永井順國さん(元読売新聞社論説委員)等、その時々の方々の(講師)にお願いして、実践体験報告や当事者意識の高揚を図るための貴重な提言等をいただきました。

また、海外への視点も重視、JICAの国際協力推進員(JICAデスク宮崎)にも第1回から参加していただき、青年海外協力隊の活動報告及び国際協力の現場での生々しい実体験を話していただきました。その他、第10回世界ベテランズ陸上競技選手権宮崎大会に参加された方々との交流や21世紀の友情計画により来県された青年たちとの交流もありました。日韓ユネスコ高校生文化交流は1988年に開始。大邱ユネスコ協会(1988年～1999年)、ソウルのテウォン外国語高校ユネスコ部(2002年～2013年)と相互訪問。日韓交流や宿泊研修(現在ユネスコ研修セミナーと称)は現在も続いています。

さらに、第8回全国ボランティアフェスティバル(1999年)・第34回全国高総文祭(2010年)・第50回全国国際研(2013年)・第17回日本ボランティア学習学会(2014年)等、宮崎の高校生及び担当職員と全国の関係者との出会いの場も多く設けました。

緒方貞子さん(JICA)、末森満さん(JICA)、末次一郎さん(元JYVA会長)、田代正美さん(経団連)、山下邦明さん(元UNESCO職員)、米田伸次さん(日本ユネスコ協会連盟)、古賀武夫さん(地球市民の会)、中村哲さん(ベシヤワール会)等、まさに出会いは宝。それぞれの部門での行くべき道を示していただきました。現在も、JICAや日本ユネスコ協会連盟は続けていく道標となっています。

現在、ユネスコでは書き損じはがき(未使用切手)を回収し、カンボジア等での世界寺子屋運動(学校建設)を継続しています。PP資料メモに記載のHP等を見てください協力いただければ大変ありがたいと思います。ありがとうございました。

1- II 宮崎県青年海外協力隊を支援する会について
<一社 協力隊を育てる会>
・1976年4月発足(東京+46道府県+2市)
会員:個人365+法人25社+96団体
<宮崎県青年海外協力隊を支援する会>
会員:個人26+法人団体23=49
・「クロスロード」
「協力隊を育てる会ニュース」
「協力隊を育てる会カレンダー」
「フロンティアズ」機関紙17号
・知事表敬/首長表敬/出発隊員壮行会
帰国隊員報告会/家族連絡会/募集説明会
※73カ国556人(230331現在)+2023年度

2 JICA事業紹介等 <中小企業・SDGsビジネス支援事業>
JICA九州協力推進員(デスク宮崎)
キャリアステップとしての青年海外協力隊
<いつか世界を変える力になる>
<協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき>
- JICAの国際協力事業における支援 -
・草の根技術協力事業(AAN飲料水サービス支援事業等)
・大学との連携事業(宮崎大学国際連携センター・JICA課題別研修等)
・民間連携事業(中小企業海外展開支援事業・高崎パンプラッシュモデル等)
・開発教育支援プログラム(出前講座・エッセイコンテスト・教師海外研修等)
※ ボランティア派遣事業(青年海外協力隊)
※ グローバル人材育成事業(COOP/CDG) ※ <フロンティア人材>
※ JICA3団体の連携→宮崎県海外協力協会(MOCA)・宮崎県JICA推進専門連携協会
宮崎県青年海外協力隊を支援する会+JICAデスク

3 4 研修講師(草野賢一氏・興相寛氏・永井順國氏)
JICA九州協力推進員(デスク宮崎)
山田邦明・宮崎孝・丸山隆弘氏等
第7回日韓ユネスコ高校生文化交流
JICA九州協力推進員(デスク宮崎)

4 5 日韓ユネスコ高校生文化交流I(1988年～1999年)
日韓ユネスコ高校生文化交流II(2002年～2013年)
大邱(派遣61128名・受入72629名)
ソウル(派遣7116名・受入58516名)

5 6 国際理解/国際交流(1993年第1回世界ベテランズ陸上競技選手権宮崎大会)
21世紀のための友情計画(1994年～2004年)
第10回世界ベテランズ陸上競技選手権宮崎大会
国際交流門 交際堂

6 7-1 第8回全国ボランティアフェスティバル(宮崎市)
1999年(九州で初)
県内3124名+県外(1992年第1回兵庫県/2016年度から「ボランティア全国フォーラム」)
大会21日に、県庁内東下町に開催のボランティアフェスティバル
第8回全国ボランティアフェスティバル(宮崎市)
第17回日本ボランティア学習学会(2014年)

7 7-3 第34回全国高総文祭宮崎大会:100803～05/県内外228名/海外23カ国47名等
<記念講演・スピーチコンテスト・研究発表/活動報告・FWI2・交流会・研修報告等>
第34回全国高総文祭宮崎大会

8 7-3 第50回全国国際教育研究大会宮崎大会:130822～23 / 県内外(海外を含む)307名
<記念講演・英語/日本語スピーチコンテスト・研究発表・生徒交流会・教員分科会等>
第50回全国国際教育研究大会宮崎大会

9 7-4 2014年11月8日～9日
(宮崎県立大学)
第17回日本ボランティア学習学会宮崎大会
第17回日本ボランティア学習学会宮崎大会
第17回日本ボランティア学習学会宮崎大会

10 8-1 緒方貞子理事/主幹大使・伊藤晴雄氏・日置昭子氏・五百旗頭真・小幡本太郎/高橋文等
日本の新戦略
講演者・パネリスト

11 8-2 多様なステークホルダー:田代正美・山下邦明・末森満・古賀武夫 / 末次一郎・中村哲・滝島卓雄
第50回全国国際教育研究大会 宮崎大会

12 ※ 9-1 広める/深める/繋げる一連続る: (JICA各拠点+国際協力推進員-各県デスク)
JICA国際協力エッセイコンテスト/経団連(JICA)協会の活用/国際協力出版局/JICA研修センター/国際海外研修/教材・情報提供等
エッセイコンテスト2023

13 ※ 9-2 広める/深める/繋げる一連続る(日本ユネスコ協会連盟):カンボジアST(2019年8月)
世界寺子屋運動(1989年～)書き損じはがき・未使用切手回収中
59歳の年生
わたしも、みんなも、
をしてみたい。

14 10 <Footwork Network Team work>
これまでの経験から
①人が一歩ずつのほほえみで(教えより風行)
～学校だけが学びの場とは限らない(中村哲)
②ホトトギスに出会って人が成長させる
③教育を通じて人間の心・共生の心を広めさせる:
アリサトネ(サトル)が活動:071129)
④育つ機会と情報を提供するキーパーソン
⑤情報収集と実践 → 多様なボランティア
見る・聴く・話す・知る・学ぶ
広める・深める・繋げる・続ける
well-being = 多様性を認める持続的共生社会
<キーワード>
・「共生社会の実現のために行う社会的活動」
・「ボランティア活動は全ての人々に与えられた基本的権利である」
・「少年は必要とされ(は)しめて大人になる」
・アレック・ディクソン (1914～1994)
・「ボランティア活動は共生の時代を開拓するための希望の力になる」(興相 寛:030823)
・「豊かな人間性は豊かな人間関係から・真なるものとの出会いから」(永竹順国:080801)
・「地域で豊かに繋がり合って生きるボランティア活動こそ地球市民の望」(米田伸次:030524)
・「人は出会うべき時に会おうべき人と出会う」(山下邦明:060809)

宮崎県青年海外協力隊を支援する会

〒880-0802
宮崎市別府町3番1号 宮崎日赤会館 3F
FAX:0985-31-7019
Mail:sojocv.miyazaki@gmail.com

JICA九州
代表 TEL:093-671-6311
HP:https://www.jica.go.jp/domestic/kyushu/index.html

JICA デスク宮崎 公益財団法人宮崎県国際交流協会内
TEL:0985-32-8457
HP:https://www.mif.or.jp/

Rotary 第2730地区
宮崎ロータリークラブ

- 本年度(2023～2024)宮崎ロータリークラブの目標
①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
②池ノ上克ガバナーの活動支援
③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
⑤例会出席率90%以上の確保
⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

- <会長> 岡本 俊則
<副会長> 藺田 潤子
<幹事> 藺田 有美
<会報委員会> 福松 修一郎
■例会日/毎週火曜日(12:30～13:30)
■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)

■事務局 宮崎市宮田町13番8号(田崎ビル) TEL:24-4872 FAX:22-0288
URL:https://miyazaki-rc2730.jp E-mail:m-rotary@miyazaki-rc2730.jp



日本のひな壇 宮崎県